

世界一の歴史を誇るジャズ・ビッグバンドの名門

デューク・エリントン・オーケストラ

ジャパンツアーニューアルバム

定曲
「A列車で行こう」、「キャラバン」、「サテン・ドール」など

煙きのニューヨークへ

”A列車で行こう”

Duke Ellington Orchestra Japan Tour 2011



2011
7/18(月祝)
16:00開演(15:30開場)

SY7,500 A¥6,500 B¥5,000 学生¥3,000 (全席指定・税込)

愛知県芸術劇場 大ホール

主催: 中京テレビ放送 共催: FM Aichi 80.7 後援: アメリカ大使館 / キングレコード株式会社 / jazzlife 招聘・企画制作: Harmony Japan

[チケット販売]

■中京テレビ事業 052-957-3333

■愛知芸術文化センター ブレイガイド 052-972-0430

■栄ブレチケ92 052-953-0777 ■e+ イープラス eplus.jp

■中日サービスセンター 052-263-7282 ■JTB店頭, JTBエンタメチケットデスク 0570-030311 [オペレーター対応] 他

■チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 131-765)

■ローソンチケット 0570-084-004 (Lコード 48902)

■セブン-イレブン店頭

お問い合わせ お申込み 中京テレビ事業 052-957-3333 | インターネットからでも <http://cte.jp> お申込み頂けます。

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (営業時間/月~金 AM9:30~PM5:30 土・日・祝日休業)

中京テレビ事業 検索

学生券

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、
中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。
往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

*出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。 *未就学のお子様のご入場はお断りさせていただきます。 *車椅子席をご希望の場合には、中京テレビ事業までお問い合わせください。

チケット発売開始!
2011
7/19(土)
10:00~

世界一の歴史を誇るジャズ・ビッグバンドの名門

デューク・エリントン・オーケストラ

デューク・エリントンは、1899年、ワシントンD.C.の黒人上層階級に生まれた。

1927年、伝説的なナイト・スポット、コットンクラブと専属契約を結び独自のサウンドを創造して、ラジオ中継などを通して全世界の大注目を浴びた。

1931年からアメリカ国内でツアー活動を開始。「スイングしなけりや意味ないね」でヒットを飛ばす。クーティー・ウイリアムズ、ジョニー・ホジスら鉄道星のようなメンバーが揃い、1940年代にはさらに、ビリー・ストレイホーンやベン・ウェブスターが八団じてデュークの理想のバンドが完成した。楽團テーマ曲である「A列車で行こう」が生まれたのもこの時代である。

1956年、ニューポート・ジャズ・フェスティバルに出演したエリントン樂團は、モダンに進化した音楽性で観客を魅了した。

その後、60年代は映画音楽『Anatomy of a Murder』でグラミー賞を獲得、ランク・シナトラとの共演作品、さらに世界各国をツアーリーし、『極東組曲』をはじめとする各地の印象をつづった組曲などでエリントン・サウンドの表現領域を拡大していった。

エリントンの死後も、実子マーサー、孫ボールへと引継がれた彼のジャズ・スピリットと名曲の数々は、現在もなお輝きを放ち続けている。

“今”のエリントン樂團を聴いて欲しい…

私がシャーブス&フラツを結成した時の憧れの的であり、目標にしたバンドこそ、エリントン樂團でした。

当時、グレン・ミラーやベニー・グッドマンといった沢山のスwingバンドは

ありましたが、いわゆる“リアルジャズ”と言えるのは、デューク・エリントン樂團なのです。

私たちジャズプレイヤーにとって、デューク・エリントンは、「ジャズの神様」であり、

エリントン樂團を聴けば、ジャズの歴史を彷彌させます。

ぜひ、“今”的エリントン樂團を聴いて欲しいですね。

あの当時のエリントン・サウンドが戻ってきましたから!

原 信夫 Nobuo Hara

●シャーブス&フラツ リーダー

エリントンの魅力は“曲”の素晴らしさ…

エリントン樂團は、カウント・ベイシー樂團と双璧をなす、偉大なビッグバンドです。

エリントンの魅力は、とにかく“曲”的な素晴らしさです。

メロディが美しく、オーケストレーションが独特で、とても深みがあるんです。

「A列車で行こう」はその最たるものですね。

ジャズの初心者も、聴き込んだ人も楽しめる音楽です。

時代を超えて今なお新しい名曲の数々を、ぜひ聴きに来て頂きたいですね。

瀬川 昌久 Masahisa Segawa ●ジャズ評論家

各曲の数々を、たっぷりお贈りします。
「A列車で行こう」

樂團テーマ曲として広く知られる、世界的な名曲となった
軽快なミディアムテンポのナンバー。「ジャズを楽しめるハーレムに行くなら、
速く行ける“A”看板の電車にお乗りなさい」という意味がある。

今年でレコード発売から70年目を迎える。

「キャラバン」

アフロ・キューバン・ジャズの代名詞といえる曲。

非西洋の音階を取り入れたメロディーがエキゾチックな世界へといざなう。

今もジャズの分野にかぎらず多くのアーティストによって演奏される。

「サテン・ドール」

1953年に生まれた可憐なメロディーの曲で、
その後、男女が恋の駆け引きをする内容の歌詞が付けられた。
多くの女性シンガーに歌われるスタンダードナンバーになった。

「イン・ア・センチメンタル・ムード」

美しい旋律のスロー・バラード。当時、作曲したてのこの曲を、
デューク本人がピアノで弾いて2人の女性の仲直りを手助けした、というエピソードがある。

※曲目は変更になる可能性がございます。

公演に関するお問合せ♪ハーモニージャパン TEL.03-3409-3345 <http://www.harmonyjapan.com/>

ビッグ・バンド新時代の狼煙。大迫力でデュークのサウンドがよみがえる。
名門デューク・エリントン・オーケストラ第三世代突入。デュークの名曲を当時のオリジナル・アレンジで最新録音。

デューク・エリントン・オーケストラ サード・ジェネレーション

～ダイナミック・サウンド・
オブ・デューク・エリントン～

Now On
Sale!

A列車で行こう/黒と茶の幻想/キャラバン/コットン・クラブ・ストンプ/ドー・ナッシュ・ティル・ユー・ヒア・フロム・ミー
/イン・ア・メロウ・トーン/ムード・インディゴ/サテン・ドール/イン・ア・センチメンタル・ムード/ジャスト・スクイーズ・ミー
/ザ・ムーチ/昔は良かったね/全12曲収録

特別価格￥1,500

●KICJ571 ●2009年6月2日 NY録音 KING RECORDS